

市区町村名	兵庫県姫路市	担当部署	環境局美化部リサイクル課
		電話番号	079-221-2406

1 取組事例名

姫路市食品ロス削減マッチングサービス「Utteco Katteco by タベスケ」

2 取組期間

令和2年度～（継続中）

3 取組概要

飲食店や食品小売店などから発生する食品ロスの削減に向けた施策として、「姫路市食品ロス削減マッチングサービス」を運用しています。

4 背景・目的

令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、食品ロス削減は、国をあげて取り組むべき課題として位置づけられている。

姫路市では、それに先立ち平成30年3月に策定した「姫路市一般廃棄物処理基本計画」において、食品ロス削減によるごみの減量化を重要施策の一つと位置付け、様々な取組を展開しています。

食品ロス削減は、市民の意識改革を促す必要があるが、啓発がしづらく、効果が見えにくい状況であった。しかし、マッチングサービスを姫路市の食品ロスのシンボル又は市民の意識改革の動機付けとして、啓発を行いその効果を公表することで市民の「もったいない」精神の醸成を図って行くために導入した。

5 取組の具体的内容

本サービスは、ウェブサイト及び姫路市公式アプリ「ひめじプラス」に、市内の食品関連事業者が消費期限・賞味期限の迫る食品や生産・流通における規格外品など、廃棄になる可能性のある食品を通常価格よりも安価で販売する情報を発信し、消費者（市民）は、それらの情報をもとに希望商品の注文予約がスマートフォンやパソコンでできるシステムであり、この需要と供給をマッチングさせることで、事業系食品ロスの削減に取り組む。

サービスイメージ図



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

実施するからには、日本一のフードシェアリングサービスの提供を目指して、参加事業者（協力店）及びユーザーから登録料・手数料を一切取らない完全無料して運営を開始しました。

また、自治体初のマッチングサービスであるので、事業系の食品ロス削減はもちろんのこと、家庭系食品ロスの削減にも寄与できるように、フードバンク情報とフードドライブ情報の提供が出来るようにしました。

さらに、自治体が導入しやすくするため、月別で新規ユーザー数、新規協力店数、出品数、取引成立数、削減量、売上額がリアルタイムで確認できるようにしています。

7 取組の効果・費用

令和4年4月末現在の実績及び効果は、以下のとおりになります。

- ・協力店舗数：36店舗
 - ・ユーザー数：17,685人
 - ・出品数：延べ1,803品目
 - ・取引成立数：延べ5,879件
 - ・削減量：8,090,205g
 - ・売上金額：3,204,729円
- 取組に要した費用は、以下のとおりになります。
- ・導入費用：約100万円
 - ・運営費用：792,000円/年
 - ・啓発費用：約30万円

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

取組を進めていく中での課題としては、協力店の募集に関する点で、姫路市では「姫路市食品ロスもったいない運動推進店登録事業者を中心に、サービスの内容の告知を行ったが、業種や営業形態の違いから協力店数増には直結しなかった。

各メディアを活用することで、新たな協力店獲得に繋がった。

また、「食品ロス削減＝ごみ減量」として啓発をしてしまいがちだが、利用者は「ごみ」を売ってる・買ってる訳ではないので、「ごみ」を強調しないように気を付ける。

9 今後の予定・構想

『姫路モデル』を全国に！」をスローガンに兵庫県内、関西、全国の自治体へと広げたい。

また、協力店舗数を令和5年度末には100店舗、食品ロス削減量も年30トンを目指します。

10 他団体へのアドバイス

「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行されて以降、食品ロス削減が叫ばれていますが、食品ロス削減、ごみ減量だけでは、事業者（店舗）の協力が得られにくい。売上、顧客確保、廃棄物処理経費の削減の点についてもアピールし、事業者・ユーザーに繋げてください。

11 取組について記載したホームページ

（食品ロス削減マッチングサービス「Utteco Katteco by タバスケ」（姫路モデル）

<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000015555.html>

（食品ロス削減の取り組み「姫路市食品ロスもったいない運動」）

<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000000297.html>